

監査報告書

平成 26 年 5 月 18 日

一般社団法人 新潟県臨床検査技師会
会 長 渡 邊 博 昭 様

監事 小林 啓二
監事 松田 和博



当職らは、一般社団法人新潟県臨床検査技師会の平成 25 年 4 月 1 日から同 26 年 3 月 31 日までの平成 25 年度事業に関し、財産状況及び業務の執行状況について監査を実施しましたので報告いたします。

1. 監査の概要

当職らは、適宜理事会、常任理事会に出席するほか、平成 26 年 5 月 13 日、県技師会事務所において渡邊会長、坂西、桑原副会長、小柳事務局長をはじめ阿部会計担当理事立会いの下、重要な書類等を閲覧し、必要に応じて理事及び事務局担当者から業務の執行状況等について聴取いたしました。

2. 監査の結果

- (1) 一般会計の貸借対照表をはじめ、関係書帳簿・台帳の提出を求め、説明を受けたのち、各帳簿類及び各付属明細書を照合精査した結果、いずれも適正かつ正確なものであり、収支決算報告書のとおり相違ないものと認めました。
- (2) 平成 25 年度の事業は事業計画に則り、適正に執行されたものと認めました。
- (3) 各理事の業務執行は適正であり、不正の行為又は法令若しくは定款に抵触するような事実は存在しないことを認めました。

3. 意見、要望

- (1) 事業の適正な執行のため、理事各位が誠実に取り組まれていることに、心から感謝いたします。
- (2) 一般社団法人移行に伴い、正味財産を公益目的事業に支出しなければなりません。篠川至賞基金や共済基金につきましては、今後、優先的に積み立てていただくことを希望いたします。
- (3) この度の全国学会開催にあたって、学会長・実行委員長・担当理事・担当委員をはじめ、県技師会員一丸となり、成功に導いたことに敬意を表します。

以上、報告します。